

Mt. Rainier & Yosemite

2012・7・2～13

富士山を後に米国へ、北部アメリカには雪を冠った『タコマ富士』『オレゴン富士』ヨセミテには真夏の太陽に焼かれた巖山のハーフドーム、そしてシスコは霧。

米国では陸路・空路を2千2百Km移動しながら積雪2m以上の山腹トレッキングと、気温30℃を越す緊張の巖山登り、海霧覆うゴールデンゲートブリッジを歩いて渡り、ディナークルーズからシスコの夜景を堪能し、12日間の感激の例会をトラブル無く終了した

ヨセミテの空七月やハーフドーム海よりのシスコ覆うや夏の霧



7/2	A	シアトル(タコマAP)
2	B	レーニア山(サンライズ)
3~4	C	レーニア山(パラダイス)
5~6	E	Mt. HOOD
7	F	ポートランドAP



7	A	サンフランシスコAP
7~10	B	ヨセミテ
11~12	A	サンフランシスコ

Mt. Rainier Sunrise

サンライズからのレーニエ山



7月2日(晴)

シアトルAPからは出迎えのマイクロバスで一路レーニエ山北側のサンライズへ。事前情報では今年積雪多く、自動車道開通は6/29のことであった。

情報に違わず、除雪された駐車場以外は雪の山で、トレッキングは諦めざるを得ず、遠くから、氷河とレーニエ山北面を眺めながらヴィジターセンター周辺を歩くに止めた。



パラダイス迄の道は、薄日が差すもののレーニエ山頂は雲の中、ビューポイントであるReflection Lakeも氷結しており『逆さレーニエ』を見ることは出来なかった。

更にパラダイスINNに到着したもののここも周辺は一面2m近い積雪で、トレイルはSkyline Trailの一部とNisqually Vista Trail 以外はクローズとのことでこの雪は、地球温暖化による海水温上昇で水蒸気が増加結果、レーニエ山の多雪と雪解けの遅れ現象となっているとのこと。夕刻、辺りにガスがたちこめる

サンライズへの分岐、道路看板

Mt. Rainier Paradise

7月3日(雨)

夜来のガスが雨に、CLの決断で、時差ボケ解消を兼ね一日宿舎で骨休め

高い天井の中二階に回廊が巡らされ、ここで持込の飲物等で歓談。これも又良し

Mt. RainierとパラダイスINNをバックに



7月4日(快晴) 晴 晴 晴 晴・・・以後毎日快晴が続く

早朝5時過ぎに起きて快晴を確認、Mt. Rainierの雄姿に感激する。足慣らしに先ずはニスカリー氷河の先端へのトレッキングに、コースは氷河の近くまで降り、氷河全体とレーニエ山を見上げるコースを往復。続いて、積雪の中レーニエ山山頂を眺めながらの『スカイライントレイル』へ、山頂にはうす緑色の光を放つ『厚い氷河』、トレイルには更に高度を狙うキャンパーや山スキーのトレッカーが。心地よい雪中トレッキング

Mt. Rainier Paradise

ニスカリーヴィスタへのトレック

トレイルヘッド手前の駐車場には除雪された雪が山のごとく
コースはニスカリー氷河の近くまで降りて、氷河全体像とレーニエ山を見上げることが出来、足慣らしとしては絶好のコースであった

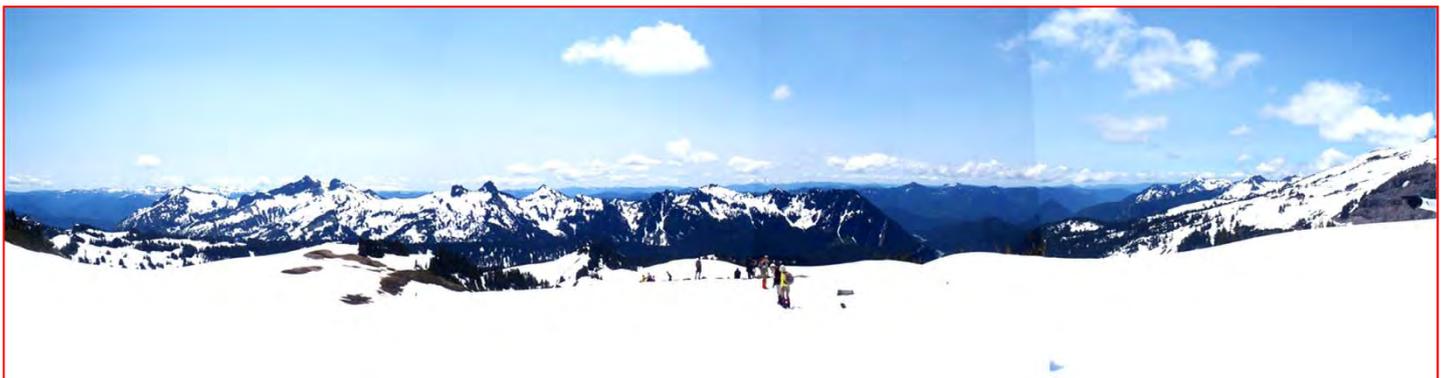


スカイラインへのトレック

本来スカイラインは花の季節であるが深い雪のため花には出合えず
それでも雪山の楽しさをタップリ楽しむことが出来た



スカイライントレイルの展望



Mt, HOOD

トレイルは雪の下、雪上を方角とMt, HOODのピークを頼りに進む。

アイゼンを使うほどでもないが、ルートを見失わないことに神経を使い、ルートを捜すため登ったり降ったりと結構厳しい。標高1,800m地点をゴールとし、THへ引き返す。

Mt, HOODをバックに



溪谷へのトラバース

ゴールの乾杯は'32年建築の
Timberlin Lodgedで



ピザ→これで中サイズ



YOSEMITE

ハーフドームをバックに



7月7日～10日(快晴)

飛行機とバスを乗り継ぎ、YOSEMITEへ、Frontで入村手続き、熊に対する『誓約書』にサインさせられてテントキャビンへキャビンは高床式・ベッド3基で思ったより広く清潔、1張二人で使用し、馴れると共に快適であった。

テントキャビンの前で



ヨセミテ初日はグレイシャーポイントから眼前に聳える『ハーフドーム』の威容を確認し

明日のハーフドームへのトレッキングの興奮を駆り立てる。

グレイシャーポイントからの降りトレッキングはYOSEMITE溪谷の全容を眺めながら、規模の大きさ。岩壁の美しさを確かめる一日であった。

溪谷内は無料シャトルバスが頻発しており、ビューポイントへの移動は非常に便利であった

ハーブドーム

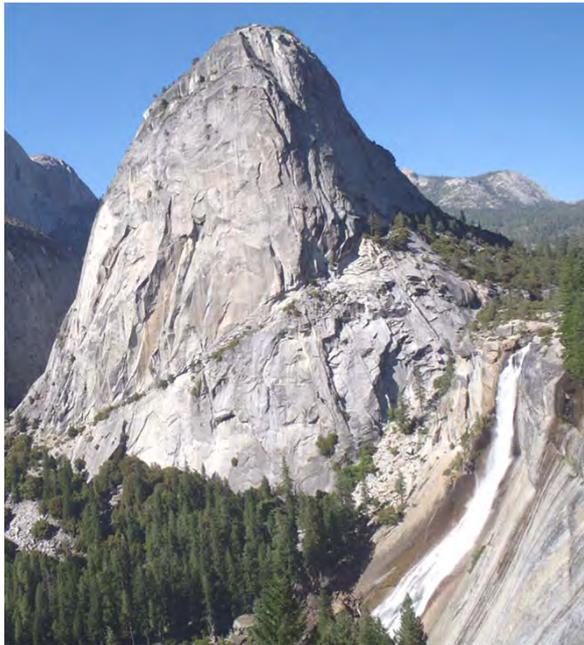
ハーブドーム迄往復約28km、13時間の行程
バーナル滝・ネバダ滝を越え、暑いけれども乾燥した空気。
早朝5:30にスタートして18:30帰着のロングコースである
ドームへの登頂は二本のワイヤーを掴み、急傾斜の
岩場200m(標高差120m)を約80分かけて往復、
険しい行程を必至の力で完走。ゲート前で待機組に
迎えられ、振る舞われた冷たい葡萄の美味であったこと。
～達成感の感激で涙ぐむ参加者も～



バーナル滝にて



もうすぐH/Dの登り口



越えていったネバダ滝



登頂するトレkkerの列



H/Dの頂上で



そしてシスコへ

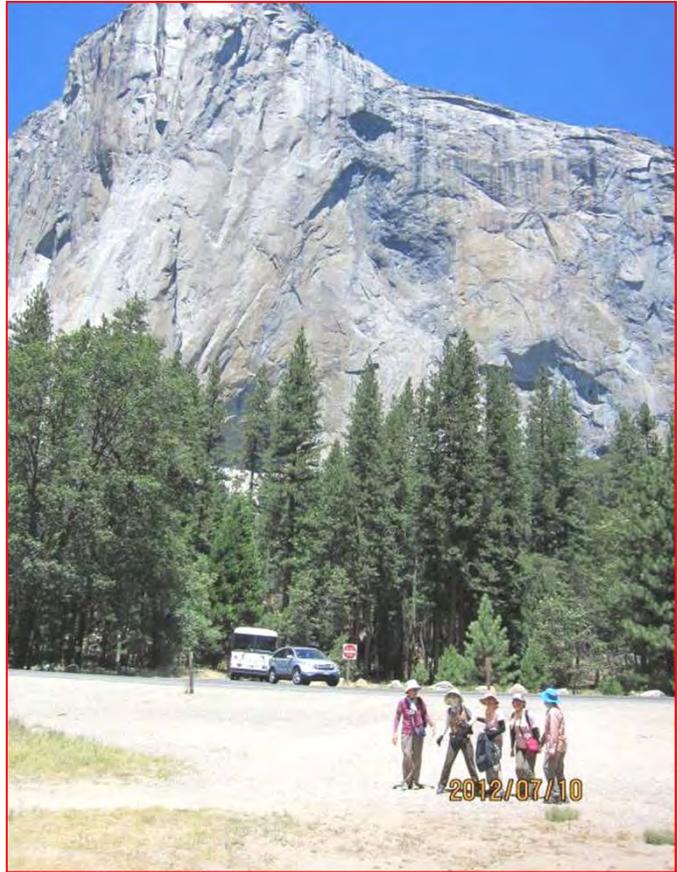
ブラックベアの剥製を抱いて



そしてYOSEMITE最終日はValleyをシャトルバスを使って散策
名高いEL Capitanの岩壁を見上げたり、Mirror Lakeへの軽トレック
そして土産物探しや……

翌日のSFでは霧のゴールデンゲイトブリッジ、フィッシャマンズワーフ
ロンバート通りを楽しみディナークルーズでアメリカ最終日を
楽しんだ

世界のクライマーの聖地 EL Capitan



花の溢れるロンバート通り



船上ディナー



歩いて渡る
GG Bridge



船上からの夜景



SFの一日